揖斐川町議会だより

第２回揖斐川町議会定例会開かれる

新しい議会構成決まる

平成19年第２回揖斐川町議会定例会が、３月５日㈪から14日㈬までの10日間にわたり開催されました。

初日には、正副議長の選挙、常任委員会委員の選任等が行われ、新しい議会構成が決まりました。

本定例会に提出されました案件は、予算案件36件、条例案件18件、人事案件４件、その他（指定管理、契約変更など）27件、合計85件で、いずれも原案のとおり可決されました。

就任ごあいさつ

清水政則議長

石原潤一郎副議長

この度、議員各位のご推挙をいただき、議長、副議長に就任致しました。

身に余る光栄であり、心から感謝申し上げますとともに、責任の重さを感じております。

さて、合併後三年目を迎え、厳しい行財政ではありますが皆様方の負託とご期待に沿うべく、議会の役割を真摯に受け止め、町政の発展に全力を傾注してまいりたいと存じます。今後とも、町民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げ、就任のあいさつといたします。

新年度予算は、特別委員会で審査

議会初日には、町長より平成19年度一般会計予算及び特別会計予算等、合計84件について、所信表明及び提案説明が行われ、そのうち新年度予算等予算案件36件、条例案件18件、その他５件、合計59件が各委員会に付託され、規約変更案件、契約変更案件等24件が可決され散会しました。

翌日は、予算特別委員会が開催され、新年度予算22件、平成18年度補正予算14件について、長時間にわたり審査されました。

翌々日からは、初日の委員会付託を受けて、７日㈬に総務文教常任委員会、８日㈭に健康福祉常任委員会、９日㈮に産業建設常任委員会が開催され、慎重に審査されました。

13日㈫には、一般質問が行われ、議員６名が町政について質問しました。

最終日となる14日㈬には、各委員会に付託されました案件について、各委員長から審議の結果が報告され、質疑・討論のあと採決が行われました。

また、同日、揖斐川町監査委員の選任についての１件が追加で上程されました。

本定例会で、可決されました議案は、次のとおりです。

（新議会の構成は、広報４月号に掲載しています。）

主な議案と内容

◎揖斐川町いび川温泉施設の設置及び管理に関する条例の制定について

揖斐川町東横山に温泉施設が完成したことに伴い、同施設の設置及び管理について必要な事項が定められました。

◎揖斐川町徳山ダム上流域自然環境保全条例の制定について

徳山ダムの完成を控え、この地域の自然環境の適正な保全を総合的に推進するため自然環境保全条例が制定されました。

◎揖斐川町障害者生活支援センターの設置及び管理に関する条例を廃止する条例について

障害者自立支援法により市区町村で実施が義務づけられた相談支援事業を事業者委託とするため揖斐川町障害者生活支援センターを廃止することになりました。

◎揖斐川町障害程度区分認定審査会の委員の定数等を定める条例を廃止する条例について

町で行っていた障害程度区分認定審査業務を揖斐広域連合に移管するため廃止されることになりました。

◎揖斐川町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例について

町の集中改革プランに基づき、特殊性及び決算から見た必要性を考慮し、オフトーク通信技術者手当、死体火葬業務手当、し尿処理手当が廃止されました。

◎揖斐川町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

一般職の職員の給与に関する法律等の改正に伴い、管理職手当額及び扶養手当額が改正されました。

◎揖斐川町消防団の設置等に関する条例の一部を改正する条例について

町村合併により連合消防団として設置されていた6つの消防団が統合されることに伴い改正されました。

◎揖斐川町消防委員会条例の一部を改正する条例について

消防団の統合に伴い、消防関係委員が団長と揖斐郡消防組合消防長の2人に改められました。

◎揖斐川町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例について

消防組織法の改正により同法を引用している条番号が整理されました。

◎揖斐川町特別会計条例の一部を改正する条例について

平成19年度から観光事業特別会計を廃止し、新たに徳山ダム上流域公有地化特別会計といび川温泉特別会計が設置されました。

◎揖斐川町基金条例の一部を改正する条例について

新たに揖斐川町町管理型合併処理浄化槽改修基金及び徳山ダム上流域における自然環境を保全するための揖斐川町公有地化推進基金が設置されました。

◎揖斐川町久瀬温泉施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

他の町内類似施設と利用料金等の均衡を図るために改正されました。

◎揖斐川町非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

障害程度区分認定審査業務が揖斐広域連合に移管されることに伴い、障害程度区分認定審査会委員の報酬項目が削除されました。

◎揖斐川町老人福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

揖斐川町老人福祉センターの入浴関連施設が廃止されたことに伴い、浴室使用料の規定が削除されました。

◎揖斐川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

国民健康保険法施行令の一部を改正する政令の施行に伴い、国民健康保険税の賦課限度額が53万円から56万円に改正されました。

◎揖斐川町福祉医療費助成に関する条例の一部を改正する条例について

揖斐川町福祉医療費助成が中学生（15歳まで）の入院にかかる分まで引き上げられました。

◎揖斐川町診療所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

久瀬診療所改築に伴い、新診療所の玄関位置に地番が変更されました。

◎揖斐川町農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

岐礼・高科地区及び美束地区の農業集落排水処理施設の完成に伴い、施設の位置と処理区域が追加されました。

◎揖斐川町徳山会館の指定管理者の指定について

同施設の指定管理者に株式会社藤橋ビレッジが指定されました。

◎揖斐川町農林水産物加工施設の指定管理者の指定について

同施設の指定管理者に遊らんど坂内運営組合が指定されました。

◎揖斐川町坂内新規作物導入支援施設の指定管理者の指定について

同施設の指定管理者にかわかみ五彩合同会社が指定されました。

◎揖斐川町坂内農林水産物処理加工施設の指定管理者の指定について

同施設の指定管理者にかわかみ五彩合同会社が指定されました。

◎揖斐川町遊らんど坂内の指定管理者の指定について

同施設の指定管理者に遊らんど坂内運営組合が指定されました。

◎町道の路線の廃止について

◎町道の路線の認定について

揖斐川三之宮線のほか2路線が廃止され、揖斐川下河原2号線のほか10路線が町道に認定されました。

◎字区域の変更について

土地改良事業に伴い、小津字奥原と小津字庚申谷の字界の一部が変更されました。

◎岐阜県市町村会館組合規約の変更について

◎岐阜県市町村職員退職手当組合規約の変更について

地方自治法の一部改正により吏員制度が廃止されることに伴い用語の整備が行われました。

◎揖斐広域連合規約の変更について

障害者自立支援法に基づく障害程度区分認定の審査判定に関する事務が加えられました。

◎揖斐川町教育委員会委員の任命について

教育委員会委員に高橋宏之さん（上南方）を任命することに同意されました。

◎人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

人権擁護委員に次の2名の方を推薦することに同意されました。

岩田　美鈴さん（谷汲深坂）

奥田　かよさん（坂内広瀬）

◎揖斐川町北方財産区管理委員の選任について

北方財産区管理委員に次の7名の方を選任することに同意されました。

森本　昭さん

香田　均さん

細野　巳彦さん

折戸　昭義さん

折戸　三夫さん

高橋　隆義さん

野田　勇さん

◎工事請負契約の締結について

次の工事について、工事請負契約が締結されました。

・北和地区管路施設北方1区工区その1工事

請負金額　6772万5000円

・北和地区管路施設北方1区工区その4工事

請負金額　6457万5000円

◎工事請負契約の変更について

次の工事について、工事請負契約が変更されました。

・徳積・長瀬農業集落排水18－6（新田・牧野工区）工事

変更前　7018万950円

変更後　8056万1250円

・清水地区農業集落排水事業管路施設島工区工事

変更前　6667万5000円

変更後　6868万6800円

・清水地区農業集落排水事業管路施設野田工区工事

変更前　5402万2500円

変更後　6006万7350円

・北和地区管路施設房島2区工区工事

変更前　7925万4000円

変更後　8352万7500円

・北和地区管路施設房島3区工区工事

変更前　8111万7750円

変更後　8375万100円

・放送通信ネットワーク光幹線関連工事（春日方面）

変更前　8799万円

変更後　8569万2600円

・放送通信ネットワーク光幹線関連工事（藤橋方面）

変更前　8893万5000円

変更後　1億306万2750円

・放送通信ネットワーク光幹線関連工事（谷汲方面）

変更前　8273万1600円

変更後　8245万1250円

・放送通信ネットワーク分配線関連工事（春日方面）

変更前　9969万1200円

変更後　9942万8700円

・放送通信ネットワーク分配線関連工事（藤橋方面）

変更前　6069万円

変更後　5935万1250円

・放送通信ネットワーク分配線関連工事（谷汲方面）

変更前　1億1442万3750円

変更後　1億1254万1100円

・放送通信ネットワーク機器関連工事

変更前　6184万5000円

変更後　6169万2750円

・放送通信ネットワーク（音声告知システム）工事

変更前　8744万4000円

変更後　7978万8450円

◎揖斐川町監査委員の選任について

揖斐川町監査委員に宗宮哲哉さん（房島）を選任することに同意されました。

◎常任委員会委員の選任について

◎議会運営委員会委員の選任について

任期満了に伴い、新たに委員が選任されました。（委員会の構成は、広報4月号を参照ください。）

◎平成19年度揖斐川町土地開発公社事業計画及び予算の報告について

平成19年度の事業計画及び予算について地方自治法の規定により報告されました。

◎平成19年度揖斐川町一般会計予算及び特別会計予算について

議決しました一般会計予算及び特別会計予算は、次のとおりです。（詳細は、広報4月号を参照ください。）

・平成19年度揖斐川町一般会計予算
・平成19年度揖斐川町国民健康保険特別会計予算
・平成19年度揖斐川町国民健康保険直診勘定特別会計予算
・平成19年度揖斐川町老人保健医療特別会計予算
・平成19年度揖斐川町谷汲中央診療所特別会計予算
・平成19度揖斐川町大和簡易水道特別会計予算
・平成19年度揖斐川町脛永簡易水道特別会計予算
・平成19年度揖斐川町市場簡易水道特別会計予算
・平成19年度揖斐川町谷汲簡易水道特別会計予算
・平成19年度揖斐川町北部簡易水道特別会計予算
・平成19年度揖斐川町北方財産区特別会計予算
・平成19年度揖斐川町大和財産区特別会計予算
・平成19年度揖斐川町谷汲財産区特別会計予算
・平成19年度揖斐川町長瀬財産区特別会計予算
・平成19年度揖斐川町横蔵財産区特別会計予算
・平成19年度揖斐川町農業集落排水事業特別会計予算
・平成19年度揖斐川町公共下水道事業特別会計予算
・平成19年度揖斐川町杉原地域土地取得等特別会計予算
・平成19年度揖斐川町個別排水事業特別会計予算
・平成19年度揖斐川町徳山ダム上流域公有地化特別会計予算
・平成19年度揖斐川町いび川温泉特別会計予算
・平成19年度揖斐川町上水道事業会計予算

◎平成18年度揖斐川町一般会計補正予算及び特別会計補正予算について

主な内容は、勧奨退職による退職手当組合負担金、県との人事交流負担金、樽見鉄道運営資金貸付金、公有地化事業にかかる基金積立金、県営事業負担金、合併推進体制整備補助金関連による防災センター兼庁舎建設関連事業、消防施設関連、中学校施設整備関連などの増額のほか、事業内容の確定や入札差金、事務費の節減による減額等により、総額4億2600万円の減額が行われました。

特別会計については、年度内の執行見込みを勘案し所要の補正を行い、12特別会計合わせて、2億6886万7千円の減額が行われました。補正のありました特別会計は、次のとおりです。

・平成18年度揖斐川町国民健康保険特別会計補正予算
・平成18年度揖斐川町国民健康保険直診勘定特別会計補正予算
・平成18年度揖斐川町老人保健医療特別会計補正予算
・平成18年度揖斐川町谷汲中央診療所特別会計補正予算
・平成18年度揖斐川町大和簡易水道特別会計補正予算
・平成18年度揖斐川町脛永簡易水道特別会計補正予算
・平成18年度揖斐川町谷汲簡易水道特別会計補正予算
・平成18年度揖斐川町北部簡易水道特別会計補正予算
・平成18年度揖斐川町観光事業特別会計補正予算
・平成18年度揖斐川町農業集落排水事業特別会計補正予算
・平成18年度揖斐川町公共下水道事業特別会計補正予算
・平成18年度揖斐川町個別排水事業特別会計補正予算
・平成18年度揖斐川町上水道事業会計補正予算

議会活動報告

1月

10日　第1回議員定数検討特別委員会
26日　第1回臨時会
　　第1回議会全員協議会

2月

8日　第2回議会全員協議会
13日　第2回議員定数検討特別委員会
26日　第3回議会全員協議会

3月

5日　第2回定例会（初日）
5日　第4回議会全員協議会
6日　第1回予算特別委員会
7日　第1回総務文教常任委員会
8日　第1回健康福祉常任委員会
9日　第1回産業建設常任委員会
13日　第2回定例会（2日目）
14日　第2回定例会（3日目）
28日　第3回議員定数検討特別委員会

ここが聞きたい 一般質問

議員6名が町政を問う

本定例会の一般質問の要旨をお知らせします。（紙面の都合上、質問および答弁は要約しております。）

山口 保 議員

問 環境保全対策について

町内の農家では高齢化と過疎化、後継者不足により農地の保守が困難となり、耕作放棄農地が多く見られます。農地を守るため、町民全体の責務としてそれなりの組織を作り農業基盤を守るべきと思います。

また、耕作放棄地復元の一案として、都会住民との交流事業で農地や山林、空き家などを貸し出し、地域住民だけでは維持できないことを都会の人々や団塊世代の方々の手を借りてはどうかと考えますが、町長の考えを伺います。

答 宗宮 孝生町長

平成12年から国の「中山間地域等直接支払制度」を71集落が利用し、耕作放棄地の防止、農道や水路の補修、防護柵の設置などを行い、地域の農地を協働で守っていく取り組みを行っています。

また、平成19年度からは、国の新農業施策「農地・水・環境保全向上対策事業」が始まります。この事業は、地域ぐるみで農地や水を守る活動に対して支援交付金が交付されるもので、この事業により、地域の農地は地域で守ろうという話し合いや協働活動が行われ、大きな成果が上がるものと考えております。

都市住民との交流や遊休農地の活用については、オーナー農園などを実施しています。先日には春日地区で山菜を生かした地域づくりを進める「山菜の里いび」が設立されました。

今後も、地元の皆さんと協力し、応援しながら、新たな事業に取り組んでいきたいと考えています。

問 町民が望むまちづくりについて

住みよいまちづくり、すなわち地域住民の社会生活向上の基本理念は経済活動の活発化です。町の特産品については、町の素材を生かした商品開発に努力すべきですが、高品位価値、販路面などで問題があります。行政としてどの程度の技術指導、支援ができるのか伺います。

答 宗宮 孝生町長

特産品づくりは地域振興にとって重要な分野であり、昨年度から特産品開発室を設置し、農業者や農業女性団体の皆さんと協力して、その開発や販売に取り組んでいるところです。

また、特産品の開発や改良を積極的に進めるため、岐阜県名産販売株式会社に既存商品の味やパッケージ、デザイン、価格などについて相談し、消費者ニーズの調査などを委託しています。この評価に基づき、商品の開発や改良を加えるなどして、売れる商品づくりを目指す生産団体を支援していきたいと考えています。

問 町の職人技能者（認定登録）制度づくりについて

町内には多くの産業があり、優れた職人たちがそれらの産業を支えています。これらの技術者、職人の登録制度を設け、町の誇れる職人たちを広く世に出すことが、まちづくりにもつながると思いますが、町長の考えを伺います。

答 宗宮 孝生町長

県の認定制度「飛騨美濃特産名人」「岐阜シルク伝承師」「匠の国岐阜県伝承建築家認定制度」などに、町から10名の方が認定され、技術者・指導者としての役割を担っていただいています。

また、揖斐郡人材バンクやシルバー人材センターにも豊富な知識や優れた技能を持った多くの方が登録されています。

提案いただきました町独自の技能者認定登録制度については、難しい点がありますので、県の技能者認定制度に積極的に推薦をしていきたいと考えています。

問 町財政のあり方について

町の補助金については、削減や中止を打ち出す前に、補助金が適切かつ有意義に使われているかどうかについて、補助を出す側も受ける側も今一度洗い直し、無駄なものは省き、増額が必要なものは増額するというような検討をすべきと思いますが、町長の考えを伺います。

答 宗宮 孝生町長

住民との協働のまちづくりを進める上において、その目的を達成するための補助金は必要と考えます。しかしながら、厳しい財政状況の中、その団体や活動に補助する必要があるかといった基本的な公的関与や負担割合などは個別に検討する必要もあります。このことは、行政改革大綱や集中改革プラ

ンの中でも公的関与の明確化や制度補助金への転換、公募制の導入などで明記されています。

改革の第一歩として、協働のまちづくりをテーマに平成18年度から公募制の「特色ある地域づくり補助金」制度を実施しています。今年度もこれを拡大する予算を計上していますが、今後、公的関与の基準を作成し、公正公平で透明性の高い補助金制度を確立したいと考えています。

林　幹夫　議員

問　**人口・雇用・税収対策と企業誘致用地の確保について**

活気ある町に共通していることは、行き交う人が多いことで、人の動きに呼応した催しや盛んな物流が見られます。揖斐川町は合併から3年目となりますが、人口は壮年層の流出と死亡が出生数を上回り、2年間で2・8％、720人も減少していますが、現在の居住環境のままでは減少が続いていくと推測されます。人口減少に歯止めをかける何らかの有効な手段が必要です。

人口増加を図る対策には、現状の地域環境に即応した対処と中長期にわたる対策がありますが、まず、町外へ出て行った人たちの呼び戻しを図るため、町内企業の雇用状況と定住化対策も加味した町独自の情報誌にまとめ、Uターン・Iターンで職を求めている域内外の人に伝える積極的な努力が求められます。ついで、中長期的な対策ですが、揖斐川町の人口構成は壮年層の減少が目立ち、新規の企業進出も全くないのが現状です。これでは税の増収は望めず、合併特例の切れる10年後の財政は厳しいものとなります。企業、特に製造業を誘致して就労の場を確保して人口を増やし、税の増収を図る対策に傾注すべきと考えます。

東海環状道の東回り開通で、沿線圏域は一大工業地となる様相を見せ、地元産業への波及効果も期待されています。西回りルートの整備が近いとの見通しの中で、「大野・神戸インター」が至近距離となる揖斐川町としては、これを起爆とした雇用の拡大と人口の増加、税の増収を図る絶好の機会ととらえ、製造業を主体とした企業の誘致を積極的に行いたいものです。その前提には用地開発の大きな課題があります。企業誘致に向く遊休地が少なく、規模の大きい工業団地の開発は農地の活用となり、事前に十分な住民の意識調査も必要となるなど、用地の確保には相当の時間を要することから、早急に取り組み、企業適地の確保を見定めて域外企業へのPRをしたいと思考します。

以上のことから次の点についてお尋ねします。

（1）企業情報の収集と域内外の就職・転職希望者に企業情報を伝える業務についてどのように考えていますか。

（2）雇用と税収の増、ひいては人口課題から積極的な企業誘致の構想を持つことが肝要と思われますが、その方針について。

（3）企業を誘致する適地を把握する取り組みは早期実施が求められますが、その取り組みについてどのような考えを持っていますか。

答　**宗宮　孝生町長**

企業誘致については、従来から定住人口の維持、拡大、雇用の場の確保及び税収増に寄与する重要な施策として取り組んでいるところです。平成17年に農業振興地域整備計画の見直しで100ヘクタールを超える土地を農業振興用地から除外し、住宅や企業が進出しやすい環境を整えてきているところです。

一つ目の質問の、就職・転職を希望される方の対応は、企業誘致を所管する総務部と、就業・労働関係を所管する産業建設部が対応しています。県の企業誘致課をはじめ、関係機関との情報交換や、町の施策のPRを行い、その周知に努めております。

二つ目の質問の、企業誘致の構想については、新たに進出する工場の新設・増設を奨励することを、第一次総合計画の基本計画に盛り込んでいます。この計画に基づいて取り組んでいきたいと考えています。

三つ目の質問の、企業誘致の適地については、地元のご理解とご協力が必要です。町内では、地元からここに企業を誘致してほしいと、適地を示していただいている地域もあります。このような声を真摯に受けとめ、適地の掘り起こしを進めていきたいと考えています。

錦野　悦朗　議員

問　**商店街の活性化について**

今の揖斐川町は、地形的な条件や都市へのアクセスも悪く、近年、郊外に大型店が進出しており、商業を取り巻く環境が一層厳しさを増しております。町としても、商工業対策に支援事業を積極的に実施し、地域経済の活性化をと言っておられますが、今の町民にはその融資資金を活用して事業を始めるには希望がもてず、一日も早くこの問題を取り上げ、町、商工会、関係団体など広く各方面から意見を集約し、その対策を考えられないでしょうか。近年の人口減少、中でも地元定住人口、交流人口の移動でドーナツ化現象が起き、商店街の購買力は落ち、その人口減少を防ぐには住宅対策、町営住宅もいいのですが、特に民間の住宅開発が緊急課題ではないかと思います。こうした地域の課題を解決するには、長期的発展計画を樹立し、将来のビジョンを立て指導すべきと思いますが、町長の考えを伺います。

答　**宗宮　孝生町長**

町としては、中小企業の皆さんへの融資制度を設けて支援にあたっていま

すが、引き続き商工会、県などの関係機関と連携して県の商店街活性化支援策や、県中小企業資金制度のＰＲを重ねていきたいと思います。

また、既存の商店街に観光客を呼び込み、街の魅力を再発見する意味で町並みウオーキングを行っていますが、こうしたこととあわせ、徳山ダムや谷汲山華厳寺、両界山横蔵寺などの観光地や施設を線で結んだ観光周遊ルートの策定をはじめ、観光ＰＲを積極的に行い、観光交流の推進により地域経済の活性化につなげたいと思っています。

中井　治美　議員

問

揖斐川町内の登山について

昨年は3件の登山者の遭難事故が発生しました。このように遭難事故が多発する原因を調べますと、「岐阜県の山」という出版物の中に、揖斐川町の多くの山が日帰りコースと案内されていました。

事故の原因はいろいろあると思いますが、この日帰りコースという案内もその一因ではないかと考えられます。そこで、日帰りコースと気軽な気持ちで登山しないよう、何らかの方法で周知する必要があると思いますが、町長の所見を伺います。

また、遭難救助に携わられる方々の2次遭難防止のためにＧＰＳナビなど、遭難救助に対する機器類を導入する考えはないか伺います。

答

宗宮　孝生町長

残念ながら昨年は、3月、9月、11月に遭難事故が発生し、捜索活動には消防団をはじめ地元の皆さんに大変お世話になりました。今後さらに登山者の増加が見込まれる中で、町としましても登山者対策として、町ホームページを活用した登山情報の掲載、登山口での注意看板の設置のほか、振興事務所や道の駅、登山口にポストを設け、登山届を提出していただくなどの対策を実施していきたいと考えています。

捜索活動の機器類については、行政無線、衛星携帯電話、小型トランシーバー等を整備していますが、老朽化の激しい坂内地区の行政無線は、平成19年度予算で更新をお願いしているところです。

今後、ＧＰＳナビ等の装備の導入も図り、捜索活動の安全確保に万全を期してまいりたいと考えております。

小倉　昌弘　議員

問

入札制度について

現在揖斐川町で行われている工事などの指名競争入札のほとんどが予定価格の90％以上で落札しています。これは談合をしているからだというような意見も聞きますが、一方で事業を円滑に進める上で談合は必要悪だという話もあります。私は必要悪だとは思いませんが、町長の考えを伺います。

また、談合の温床にもなり得る指名競争入札をやめ、一般競争入札に切り替えるべきだと思いますが、町長の考えを伺います。

答

宗宮　孝生町長

入札制度について、本町は、県の評点ランクにより業者選定を行い、指名競争入札を実施しています。一部の大きなものについては一般競争入札を実施した経過もあります。平成18年度からは電子入札制度も導入しました。予定価格に対して60％台の入札もありました。このようなことから、本町の入札については談合はないと信じています。

公共工事発注の透明性を確保することは極めて重要なことですが、一般競争入札は、入札を行うまでの段階で相当の期間と経費を要します。このため、電子入札制度をさらに進め、国や県の実施状況を参考にしながら、モデル的に総合評価方式の一般競争入札制度を実施していきたいと考えています。

石原　潤一郎　議員

問

少子化対策と子育て支援政策について

揖斐川町では、近隣市町に先駆けて子育て支援施策が実施されており、19年度新たに中学生に対しての入院費助成事業が始められることとなり、限られた予算の中で子育て支援事業を優先されておられます。今後、財政がますます切迫するなか、このような支援策を増やすことも必要ではありますが、すぐに効果が出るものでもありません。だからこそ、今抜本的な見直しをすべきと考えますが、町長の考えを伺います。

答

宗宮　孝生町長

本町では、平成18年度から子育て支援課、子育て支援センターを設置し、子育て支援に取り組んでいるところです。また、現在、小学校卒業までの医療費の無料化を行っていますが、19年度からは中学生の入院費の助成を行いたいと考えております。18年度から町単独事業として「不妊治療助成事業」や「すこやかベビー祝い金事業」も実施しています。

19年度も引き続きこうした事業を継続事業として予算計上をさせていただきました。今後も少子化対策と子育て支援政策は最重要課題としてとらえ、財政状況を勘案しながら全庁的に取り組み、実効性があり実現可能な施策は、積極的に取り組んでいきたいと考えています。